

あしよる

広報

2011

NO. 703



- 功績をたたえて
- 町中学生・高校生海外研修派遣事業
- 元町長 富田秋雄さんをしのんで



功績をたたえて

11月3日、町の発展などに功績のあった方への
功労賞、文化賞、スポーツ賞などの表彰式が町民センターで行われました。



自治功労



平野 武雄き
新町・72歳

昭和55年4月から平成7年3月までの5期15年間にわたり、町農業委員会委員として、農地あつせん業務や農業者年金の加入推進活動などに取り組み、農業者の経営基盤の確立や生活の安定に尽力されました。特に、平成元年4月から平成4年3月まで会長職務代理、平成4年4月から平成7年3月までは会長として、会の中心となつて農業委員会業務全般について積極的に推進し、農業者の地位向上に努められました。また、平成7年5月から平成19年4月までの3期12年間にわたり町議会議員として、地域行政の振興に尽力され、町政の発展に寄与されました。



高橋 雅き
北2-3・81歳

平成元年4月から平成21年3月までの20年間にわたり、町行政相談委員として、国の行政機関はもとより地方公共団体などと、住民とのパイプ役を務められ、行政全般に対する苦情処理を親身に対応されました。また、平成元年4月から平成13年3月まで町社会教育委員として、本町の社会教育に関する事項への指導・助言を、平成7年12月から平成19年12月までは、町行政改革推進委員会委員として社会経済情勢の変化に対応した効果的な町政の実現に向け助言を行うなど、本町行政の振興発展に寄与されました。



故 浅川 昭き
南2-1

昭和56年9月から平成23年

産業経済功労



松田 和幸き
郊南1・64歳

2月までの29年余にわたり、町公平委員会委員として、公正な人事行政の確立に尽力されました。また、平成3年6月からは公平委員会委員長として、常に中立公正を旨として職務に当たられ、町職員の勤務条件の適正化等への助言や不利益処分申し立ての審査を行うなど、町行政の民主的、能率的な運営に貢献されました。

昭和62年旧足寄町農業共済組合の理事に就任以来、共済事業の充実・拡大を図り、特に畑作物共済の引き受け拡大と定着化に努められました。また、平成2年の農業共済組合広域合併に当たっては、本町の組合員への理解・説得にまい進し、合併実現に向けその推進に尽力されました。合併後は監事に就任、平成5年

社会福祉功労



故 我妻 敏子き
南4-2

からは代表監事に選任され、常に組合の財務状況を把握し、組合運営の健全化を期すため積極的に理事者に進言するなど、業務の適正執行と組合員の負託に応え得る組織の運営基盤強化に尽力されました。

昭和52年9月から平成23年3月までの33年余にわたり、町赤十字奉仕団団員および副委員長として、また、昭和54年からは町婦人ボランティアクラブの会員として活動され、本町の高齢者福祉事業を中心としたボランティア活動の推進に積極的に取り組まれました。特に、平成元年からは婦人ボランティアクラブの会長として、地域のニーズに合わせたボランティア活動の推進に努められました。また、町社会福祉協議会の評議員および理事を32年間務められたほ

文化賞

個人

新津眞理子き (南1-2)

か、町高齢者保健福祉サービスマニターを務められるなど、本町の社会福祉の増進に寄与されました。

文化奨励賞

個人

相馬竹夫ぶ (新町)

昭和61年3月に開催された町公民館主催の「お話し会と映画のつどい」以来、25年間にわたり「ブレイメンのおはなし会」を開催し、幼児や小学校低学年を対象とした絵本の読み聞かせや紙芝居、工作等を積極的に行っていました。その長年にわたる活動は、本町の読書活動の推進に多大な貢献を果たし、子どもたちの情操教育に寄与されました。

高橋康子こ (西町7)

第36回全道民謡民舞大会寿年二部(民謡)優勝
第17回北海道野生生物写真コンテスト植物部門1席、動物部門2席

ジュニア文化奨励賞

個人

木村海斗（螺灣小5年）
第53回十勝子ども大会美術作品の部（絵画）特選

スポーツ賞

個人

平野昌成（南615）
足寄高校に赴任してからの5年間で陸上部顧問として、熱心な指導により、高体連・新人戦・国体道予選会等10大会連続全道大会に導き、今年度開催された北海道高等学校陸上競技選手権大会で同校3年の清水達也選手においては、1500m・5000mで第1位に輝くなど、優れた指導力で本町のスポーツ振興に寄与されました。

スポーツ奨励賞

個人

小笠原トシ子（南215）
2010全十勝パークゴルフ選手権大会女子の部優勝

ジュニアスポーツ賞

個人

岡田 樹（帯広南商業高1年）
平成22年度全国中学校体育大会第31回全国中学校スケート大会男子5000m第3位

団体
足寄中学校スピードスケート部男子
平成22年度全国中学校体育大会第31回全国中学校スケート大会男子総合準優勝

足寄水泳スポーツ少年団
第34回（2011年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会男子13・14歳400mメドレーリレー第1位

ジュニアスポーツ奨励賞

個人
阿蘇康大（帯広三条高1年）
平成22年度第57回全十勝中学校体育大会冬季スケート大会スピードスケート大会男子5000m・10000m第1位
平成22年度第57回全十勝中学校スケート選手権大会総合優勝

遠國大地（帯広三条高1年）
平成22年度全国中学校体育大会第31回全国中学校スケート大会男子1500m第6位

ト大会男子1500m第6位

川島昂也（足寄中3年）
平成23年度第39回北海道中学校柔道大会十勝地区予選会男子個人戦90kg超級優勝

平成23年度北海道中学校体育大会第39回北海道中学校柔道大会男子個人戦+90kg級準優勝

横田早紀（足寄中3年）
平成23年度第30回全十勝中学校水泳大会第32回北海道中学校水泳大会十勝地区予選女子800m自由形第1位、女子400m自由形第1位
第15回十勝選手権水泳競技大会女子13・14歳800m自由形第1位

岡田 翔（足寄中2年）
平成22年度全国中学校体育大会第31回全国中学校スケート大会男子5000m第6位

山田和真（足寄中1年）
平成23年度第30回全十勝中学校水泳大会第32回北海道中学校水泳大会十勝地区予選男子200mバタフライ第1位
第20回オホーツクジュニア水泳競技大会男子11・12歳200mバタフライ第1位

熊坂瑠菜（足寄小6年）

第38回全十勝小学校陸上競技大会小学女子6年走幅跳第1位

白澤柚希（足寄小6年）
第29回道東選手権水泳競技大会女子9・10歳100m自由形第1位

成田龍哉（身登小5年）
第15回十勝大平原全道少年剣道錬成大会小学生の部準優勝

団体
足寄中学校卓球部男子
平成22年度第32回全十勝中学校秋季卓球大会男子団体戦優勝

平成23年度全十勝中学校体育大会第14回全十勝中学校春季卓球大会男子団体戦優勝

平成23年度全十勝中学校体育大会第46回全十勝中学校夏季卓球大会男子団体戦優勝

足寄中学校スピードスケート部女子
平成22年度北海道中学校体育大会第41回北海道中学校スケート・アイスホッケー大会スピードスケート競技女子2000mリレー第3位

足寄中学校水泳リレーチーム男子

平成23年度北海道中学校体育大会第32回北海道中学校水泳大会男子400mメドレーリレー第3位、男子400mフリーリレー第3位

足寄中学校水泳リレーチーム女子
平成23年度第30回全十勝中学校水泳大会第32回北海道中学校水泳大会十勝地区予選女子400mメドレーリレー優勝

第15回十勝選手権水泳競技大会女子13・14歳400mメドレーリレー第1位

足寄水泳スポーツ少年団
第20回オホーツクジュニア水泳競技大会男子13・14歳400mリレー第1位
第15回十勝選手権水泳競技大会男子11・12歳200mリレー第1位

第34回（2011年度）全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会北海道予選会男子10歳以下200mリレー第3位

第29回道東選手権水泳競技大会男子9・10歳200mリレー第1位

平成23年度足寄町中学生・高校生海外研修派遣事業

町では姉妹都市カナダ・ウエタスキウィン市との友好親善と町民が国際感覚を身に付けるために昭和61年から海外研修派遣事業が実施され、中高生の派遣は今回で11回目となります。9月11日から21日の日程で平成23年度足寄町中学生・高校生海外研修派遣団がウエタスキウィン市などを訪問しました。

団員17人（中学生10人、高校生5人、教員1人、随行者1人）は、ウエタスキウィン・足寄友好協会の心温かい歓迎を受け、ホームステイを中心に一日体験入学や市内見学などの研修を行い、貴重な体験と忘れられない思い出を胸に帰町しました。

団長 宮村 栄治（足寄中学校教頭）

「私自身、2度目の海外研修団引率で前回の苦労が脳裏によみがえるところですが、約10時間及ぶ空路では、座席にテレビ、現地での会話には電子辞書と文明の進歩に驚きを覚えました。生で見たロッキー山脈、どこまでも続く田畑とスケールの大きさには度肝を抜かれました。ウエタスキウイン市でのホームステイを通し、思いやりや感謝の気持ちをとても大切にすることを学んだと同時に、日本文化や家族の有り難さを痛感しました。友好協会会長のグラディス・マジエルスキーを始めとする友好協会の皆さん、この機会を与えてくださった足寄町に感謝します。団員には一生の思い出となったことと思います。」



9月13日、訪問団やホストファミリーと一緒に（バイザレイクパークにて）

平成23年度足寄町中学生・高校生海外研修派遣団

団員

- 櫻井 牧歩（足寄中1年生）
- 菅原 諒（足寄中1年生）
- 丸山 智子（足寄中1年生）
- 齋藤 豪（足寄中2年生）
- 齋藤 寧々（足寄中2年生）
- 菅原 和実（足寄中2年生）
- 清水望千乃（足寄中3年生）
- 原 菜歌（足寄中3年生）
- 山崎 真穂（足寄中3年生）
- 横田 早紀（足寄中3年生）
- 尾西 悠（足寄高3年生）
- 菅原 一茂（足寄高3年生）
- 山下 貴紘（足寄高3年生）
- 桜井 祐衣（足寄高3年生）
- 諸橋 久美（足寄高3年生）

団長

宮村 栄治（足寄中学校教頭）

随行者

西岡 潤（教育委員会）

元町長 富田秋雄さんをしのいで

平成23年7月4日、元町長の富田秋雄さん(享年81歳)がご逝去されました。富田さんは、昭和58年5月に足寄町長に初当選され、3期12年間にわたり町政のかじ取り役を務められました。富田さんの功績等をお伝えします。



故 富田秋雄さん

るための海外視察研修やカナダ・ウエタスキウイン市との姉妹都市提携、国際交流員招へいなどの教育関連から、デイサービスセンターや心身障がい児通所施設「あゆみ園」の開設等、福祉の向上に貢献されました。

さらに足寄ヘリポートや総合体育館、温水プールなどの整備のほか、自衛隊足寄弾薬支処、企業誘致にも力を注がれました。町民の足を守るため旧国鉄池北線の存続に奔走し、平成元年ふるさと銀河線が開業。平成18年の銀河線廃線時には一日駅長を務め、最後の列車を送り出していた、といっています。

また、退任後はこれまでの知識や経験を生かし、町史編

さん委員会委員長も長年にわたり務めていただきました。

富田さんが郷土「足寄町」に捧げられたご功績の数々は、本町の今後の発展の上に伝えられることと思います。心から謹んでお悔やみ申し上げます。

足寄町長 安久津 勝彦

表彰歴

- 平成4年1月 全国町村会長表彰
- 平成8年4月 北海道町村会長表彰
- 平成9年11月 足寄町長表彰
- 平成14年4月 勲五等双光旭日章
- 平成23年7月 特旨叙位(従六位)

足寄町は平成20年に開町100年を迎え、昭和48年に発刊された「足寄町史」も30余年が経過したことから、新町史の発刊を計画されました。富田さんは町史編さん委員会委員長を務められ、執筆者の皆さまと共に、その推進に努力された結果、素晴らしい「足寄百年史」(全3巻)が完成されたことは、町民の一員として感謝の心でいっぱいです。町の次世代を引き継ぐ町民の皆さまに何物にも勝る贈り物になることでしょう。

富田さんは悠々自適の日々を送っておられた平成20年10月、開町100年記念式典を翌日に迎えようというときに発病し、以来入院加療を余儀なくされ、ご息様夫妻をはじめ、ご親族の手厚い看護の甲斐もなく、黄泉の道に旅立たれたとの悲報を受け「天命、時をかさず」と申せ、驚きと悲しみのあまりお悔やみの言葉もありません。今はただ「六人会」揃って「とわ」のご冥福をお祈り申し上げます。

富田さんの思い出

横田 嘉之

Q どのようなお人柄でしたか?
常に快活にして理性的で行政に携わり、その中枢で貢献すること半世紀、自他共に認める練達の士としてのキャリアを惜しみなく発揮され、その集大成にいそむ日々であったと思います。

Q 仕事に対する姿勢はどうでしたか?
助役を13年、町長12年の計25年間、1日たりとも病気で休むことはなかった方で、仕事に対する情熱とその責任を果たす姿勢に感服しました。内助の功としての偉大さ、夫婦の絆としての偉大さ、精神力の偉大さに脱帽です。

Q どのようなまちづくりを目指していましたか?
公の施設が各分野にわたって整備され、いずれの施設も華美にならない中で、品位に富み風情を感じ、バランスよく形成されていくこ

とを常に望まれていました。一番に力を入れて取り組んでいたことは何でしたか?
いかにして優秀な職員を養成するか、職員研修の充実を図り職員としての素養のレベルアップを図り、使命感の強い職員の育成を推進していました。コンピュータ技術の目まぐるしい進歩の中、電算化を積極的に取り組み事務処理の省力化を図っていました。

Q 思い出に残っているエピソードを教えてください。
昭和55年4月1日に、総務課長補佐職から水道課長を命ぜられました。富田さんは当時助役で、水道企業会計に関することは助役には権限がなく、町議会の提案内容をよく勉強して失敗のないように、とアドバイスを受けた記憶があります。今でも鮮明に覚えています。最後に、行政の練達の士、元足寄町長富田秋雄翁の死を悼み謹んでご冥福をお祈りいたします。

富田さんと親交のあった星野喜美男さん(南5条1丁目)と富田町政時代、助役を務められた横田嘉之さん(南7条3丁目)に當時を振り返ってもらいました。

六人会の思い出

星野 喜美男

昭和58年4月、小林弘道町長が、任期満了により勇退された後、富田さんが町長に初当選されました。当時は町民の高齢化、生活水準の向上による住民意識の変化等、多様化する福祉のニーズにも対応しなければなりません。また、一方で行政の合理化と財政運営の効率的な運営にも配慮を求められる時代でもありした。「六人会」は、森本欣吉さん(北2条2丁目)、岡崎薫さん(西町7丁目)、故真鍋重幸さん(南2条2丁目)、故浅川昭さん(南2条1丁目)がクラスメートであったこと

から「時には杯でも交わして富田さんと共にストレス発散も妙案では」との提案が始まりました。そして、私は同年齢ということでお誘いを受けたように記憶しています。

富田さんの会合は、当初から屈託のない会合となりました。これも戦中、戦後の苦難の時代を生きてきた相通じる体験から話題が共通し、いつの会合でも笑いの尽きないひとときを過ごしました。町長退任後も会は継続し、後には妻同伴で一泊旅行に出掛け、道東方面や日高方面と、春はお花見、秋は紅葉観賞と童心にかえり歩き回ったことが思い出されます。退任後の富田さんは、自宅で任中の出来事などを手帳に書き綴っていたとも聞いています。健康について、誰よりも気を使い、町民センターのパークゴルフ場でみんなと一緒にパイクゴルフに興じ、時には隣家の犬を連れて市街地を散歩している姿も見かけたものでした。

写真で当時を振り返る



平成2年9月ウエタスキウイン市と姉妹締結を結ぶ



昭和58年5月就任初登庁



平成18年4月銀河線廃線一回駅長を務める



平成6年4月デイサービスセンター開所



10.1-2 足寄中学校文化祭

足寄中学校（西出伴良宏校長）が2日間の日程で第63回文化祭を開催しました。「開花～みんなで感動の花を咲かせYo!」をテーマにダンスや劇、合唱コンクールなどが行われました。生徒たちの日ごろの成果に会場に詰め掛けた保護者などからたくさんの拍手が送られていました。



10.6 事故や犯罪のない町へ

町交通安全・防犯町民大会（町交通安全協会、町防犯協会主催）があしよろ銀河ホール21で開かれ、関係者など約120人が参加しました。この大会は、犯罪と事故のない明るい郷土の実現を目指し開催され、市街地区の各学校や両協会の代表者が、交通安全や防犯に向けた決意表明を行いました。



10.9 吹奏楽フェスティバル

第22回町吹奏楽フェスティバル（町教育委員会主催）が町民センターで開催され、約160人が来場しました。足寄ジュニアプラスバンド、足寄中学校吹奏楽部、足寄高等学校吹奏楽局、足寄吹奏楽団が参加し、日ごろの練習の成果を披露しました。また、総勢75人の4団体合同による演奏も披露され、迫力ある演奏で来場者を魅了していました。

写真をご希望の方は広報広聴担当まで



9.27 けんこう貯筋教室

第1回けんこう貯筋教室が町民センターで開かれ、参加者は健康づくりに取り組みました。握力や10メートル障害物歩行、長座体前屈など体力測定を行い、測定の結果を見た参加者から「思ったよりできた」などの感想が聞かれました。なお、この教室は12月6日まで全7回開催されます。



9.27 三町タスキリレー

本別地区交通安全協会による秋の交通安全運動三町合同タスキリレー足寄地区集会在足寄交番前で行われました。町交通安全協会（國見勲会長）の会員や町交通安全指導員など39人が参加し、本別町から引き継いだたすきを身に付け、ドライバーに交通安全を呼び掛けました。



9.29 健康づくり講演会

健康づくり講演会が町民センターで開かれました。講師に心理・産業カウンセラーの神田裕子さんを招き「こころの声に耳を傾けよう」と題して講演を行いました。神田さんは、うつ病の早期発見の重要性を説き「身近にうつ病の人がいても特別扱いすることなく、そっと心に寄り添ってほしい」と話されました。



10.1-2 九州大学公開講座

九州大学北海道演習林（久米篤林長）が「十勝の自然と土壌～森の土を作る生物を調べる」と題した公開講座を2日間にわたり開講しました。受講者は1日目に土壌生物や樹木の講義を受け、2日目に同大学演習林で野外実習「天然林散策と土壌動物採取体験」を行い、十勝の自然や生物について知識を深めました。

平成23年10月から 子ども手当制度が変わりました

「平成23年度における子ども手当の支給等に関する特別措置法」の成立に伴い、子ども手当の支給対象者と支給額が変わりました。

これまで、子ども手当を受け取っていた方を含め、受給対象となる全ての方に手続きが必要となります。

支給額（月額・1人あたり）

対象	期間	改正前 平成23年4月～9月	改正後 平成23年10月～平成24年3月
3歳未満	13,000円	13,000円	15,000円
3歳以上小学校修了前 (第1子・第2子)			10,000円
3歳以上小学校修了前 (第3子以降)			15,000円
中学生			10,000円

※18歳に到達する日以後の最初の3月31日までの間にある者で年齢の1番高い者から第1子と計算する。

支給時期

平成24年2月	平成23年10月～平成24年1月分（4カ月分）
平成24年6月	平成24年2月～3月分（2カ月分）

支給要件の主な変更点

- ・原則として、子どもが日本国内に住んでいる場合に支給されます。
- ・父母が離婚協議中で別居している場合は、お子さんと同居している方へ支給されます。
- ・子どもに未成年後見人がいる場合は未成年後見人に、また、父母が海外に居住している場合には、父母が指定する者に支給することができます。
- ・子どもが施設に入所している場合や里親等に預けられている場合は、原則として施設の設置者や里親等に支給されます。
- ・保育料や学校給食費などを子ども手当から徴収することが可能になりました。

申請方法

- ・支給要件に該当する世帯には、11月中旬以降に申請書を郵送しますので、忘れずに申請してください。
- ・公務員の方は、勤務先での申請となります。
- ・10月以降に転入された方や子どもが生まれた方は、転入または出生日から15日以内に役場福祉課保健福祉室福祉担当で申請手続きをしてください。なお、支給開始は届け出月の翌月からで、遅れて申請された場合にはさかのぼって支給されません。

詳細 役場福祉課保健福祉室福祉担当 ☎25-2141内線144



10.10 健脚を競う

第32回町民マラソン大会が陸上競技場で行われ、幼児から一般まで252人が参加しました。あいにくの曇天でしたが、選手たちは家族や友人からの声援を受けながら各部門に分かれて熱い戦いを繰り広げました。また、第17回町民ウォーキングも行われ、出合いの森などで森林浴を楽しみました。



10.14 いしやまワールド

大誉地小学校（山本勇二校長）で「いしやまワールド」が行われ、保護者や地域住民、上利別保育所の子どもたちのほか、芽登小、螺湾小の児童が訪れました。この催しは児童会が中心となって企画され、参加者は児童手作りの「カフェ」や「スポーツコーナー」などを楽しみました。



10.15 赤十字ふれ“愛”バザール

第24回チャリティー「赤十字ふれ“愛”バザール」が町民センターで開かれました。会場には町民から提供された衣類やバッグ、日用品、野菜などが会場いっぱい並べられ、開場前からお気に入りの品を目当てにたくさんの方が詰めかけました。なお、このバザールの益金は社会福祉のために活用されます。



10.16 秋の味覚を楽しむ

大収穫祭・秋の物産市があしよろ銀河ホール21前のイベント広場で開かれました。会場ではカボチャやジャガイモなどの秋野菜や町特産品等も販売されたほか、町内林業若手グループ岐志会メンバーによる薪割り体験コーナーも開かれ、観光客など約1500人が訪れにぎわいました。

ふるさとへの話に花が咲く

東京と足寄を結ぶ・ふるさと会（参加者62人）が10月7日に東京都千代田区で、札幌足寄会・懇親会（参加者62人）が同月14日に札幌市中央区で開かれ、本町出身者などが参加しました。参加者は、共に笑顔で、懐かしい旧友や先輩、後輩とふるさとの思い出や近況を報告し合っていました。

東京と足寄を結ぶ・ふるさと会



札幌足寄会・懇親会



平成22年度 足寄町の健全化判断比率等について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、平成22年度足寄町の財政指標（健全化判断比率および資金不足比率）を公表します（これらの比率は、監査委員の審査を受け、意見を付けて町議会に報告した内容です）。

本町の早期健全化基準および経営健全化基準は「健全」段階です。

※健全化判断比率は①実質赤字比率②連結実質赤字比率③実質公債費比率④将来負担比率の4つの指標で、それぞれの比率に応じて「健全」「早期健全化」「財政再生」の3段階に区分されます（将来負担比率は「財政再生」段階はありません）。

※資金不足比率は、公営企業会計ごとに算定し「健全」「経営健全化」の2段階に区分されます。

健全化判断比率

項目	足寄町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	14.63%	20.00%
連結実質赤字比率	—	19.63%	40.00%
実質公債費比率	18.3%	25.00%	35.00%
将来負担比率	30.0%	350.00%	—

※実質赤字比率と連結実質赤字比率は、赤字額がないため「—」と表示しています。

資金不足比率

会計名	足寄町の比率	経営健全化基準	※総務省や北海道のホームページで地方公共団体財政健全化法関係資料をご覧ください。
上水道事業会計	—	20.00%	
国民健康保険病院事業会計	—		
簡易水道特別会計	—		
公共下水道事業特別会計	—		

※すべての会計で資金不足額がないため「—」と表示しています。

町では差し押さえを強化しています

私たちの納める税金は、生活に関わる仕事を行うための重要な財源です。税負担の公平を保つため、国税徴収法および地方税法に基づき財産調査・差し押さえを行います。

Q 税金を納めなければどうなるの？

A 納税義務者であるあなたの財産調査をし、滞納町税に充当できる財産があれば差し押さえを行います。

例：預金、給与、生命保険、自動車、バイク、テレビ、家、土地など

※税金は「遊興費」「借金」よりも優先します。

※相談もなく納期を守らない場合は、延滞金に加算されます（年14・6%）。納入が困難なときは、速やかにご相談ください。

詳細 役場住民課収納担当
☎25-2141内線237

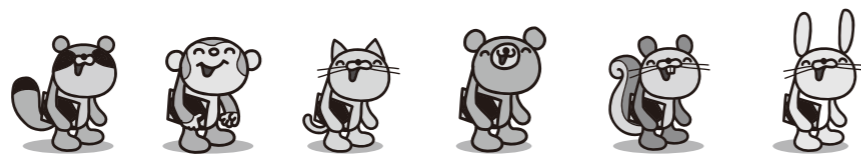
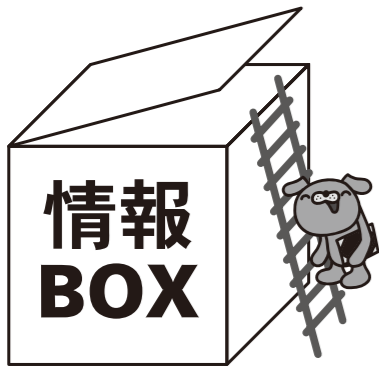
定住自立圏共生ビジョンを策定

帯広市と十勝管内18町村による定住自立圏形成協定締結に伴い「十勝定住自立圏共生ビジョン」が9月30日に帯広市で策定されました。

策定には、民間団体や地域の関係者などで構成された「共生ビジョン懇談会」での議論およびパブリックコメントのご意見を踏まえ、十勝圏域の将来像や具体的な取り組みが盛り込まれています。

帯広市は圏域全体の暮らしを視野に入れて必要な都市機能の整備を進め、各町村はそれぞれが有する資源や特性などの保持・向上を図ることを目的としています。本ビジョンなどは総務課企画財政室で公表しています（町ホームページでもご覧いただけます）。

詳細 役場総務課企画財政室
☎25-2141内線314



お知らせ

障害者控除認定について

身体障害者手帳を持っていない方でも一定の要件に該当する方は、所得税および地方税について手帳をお持ちの方と同等の税控除を受けることができます。

対象者

・65歳以上で身体などに障がいがあると町長が認定した方

※なお、認定までには一定期間必要となります。

・常に就床を必要とし、複雑な介護を要する方（寝たきりの方）

詳細

役場福祉課保健福祉室福祉担当
☎25-2141内線143

新築住宅の税額軽減措置

今年中に建設した住宅で次に該当する場合は、来年度以降の固定資産税が一定期間減額されます。減額には申告書の提出が必要です。

要件

- ①専用住宅や併用住宅
 - ②床面積が50㎡以上280㎡以下
- ※詳しくはお問い合わせください。

詳細 役場住民課税務室課税担当
☎25-2141内線233

家屋を取り壊した方へ

今年中に取り壊した家屋には、来年度から固定資産税がかかりません。まだ届け出されていない方は「家屋滅失届」を提出してください。

詳細 役場住民課税務室課税担当
☎25-2141内線233

平成23年分 年末調整等説明会

年末調整事務および源泉徴収票等の作成要領について説明会を開催します。

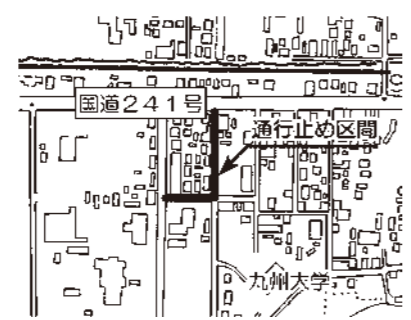
日時 11月30日(水) 午前10時-
場所 あしよろ銀河ホール21
詳細 役場住民課税務室課税担当
☎25-3188内線232

通行規制のお知らせ

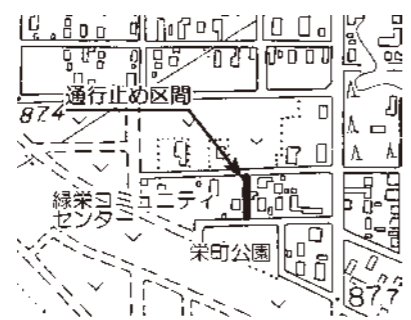
道路工事のため次のとおり通行止めを行います。なお、通行禁止区間であっても区域内住民のために必要と認められる交通は確保します。

工事箇所

- ・北4条1丁目
 - ・北5条1丁目
- (平成24年1月27日(金)まで)



・栄町2丁目 (12月20日(火)まで)



詳細 建設課建設室土木担当
☎25-2141内線376

自然エネルギーセミナー 2011 in 足寄を開催します

太陽・風力エネルギーやバイオマス・小水力エネルギーなど、自然エネルギー利用の有効性について一緒に考えてみませんか。

日時 12月10日(土)
午後1時30分-4時30分
会場 あしよろ銀河ホール21
基調講演 「原子力社会から自然エネルギー社会へ」
～北海道新エネルギー普及促進協会理事長 大友詔雄氏

講演 「足寄町のバイオマスタウン構想」ほか

詳細 役場経済課
☎25-2141内線250

平成24年成人式参加者および成人祝賀会実行委員募集

町では、平成24年の成人式を次の日程で行います。対象者で足寄町に住民票のある方には、11月中旬にはがきで詳細およびご案内をお送りします。お知り合いの方など足寄町に住民票のない方で、参加を希望される方がいましたら、教育委員会生涯学習室までご連絡ください。

また、成人式式典終了後に実行委員会主催の祝賀会開催を予定しており、祝賀会を盛り上げる実行委員を募集しています。実行委員に参加を希望される方についてもご連絡ください。

開催日 平成24年1月8日(日)
場所 町民センター
対象者 平成3年4月2日-平成4年4月1日生まれの方
詳細 教育委員会生涯学習室
☎25-3188

都市再生整備計画事業/事後評価原案の公表について

町では、平成20年度から都市再生整備計画事業(旧まちづくり交付金事業)を活用し、「銀河ホール21地区」において事業を実施してきました。このたび同事業が最終年度を迎えたため、「事後評価原案」を次のとおり公表し、意見を募集します。

公表期間 11月25日(金)まで
公表場所 役場建設課建設室
※町ホームページ (<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>)でも公表しています。

募集期限 11月25日(金)
詳細 役場建設課区画整理推進担当
☎25-2141内線362

『冬山の遭難事故防止』のお願い

冬山登山をする場合には、次の点に気を付けましょう。

- ・無理のない計画と登山届を提出する。
- ・単独での登山を避ける。
- ・天候の急変にも耐えられる装備と予備食料や燃料などを準備する。
- ・携帯電話などの通信手段を携帯する。
- ・入山前には気象情報を確認し、天候が悪化しそうな場合は、登山を控える。
- ・冬山では、雪崩や危険個所の回避など慎重な行動を心掛ける。

詳細 本別警察署足寄交番
☎25-2151

11月は、労働保険適用促進強化月間です

農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも使用する事業主は、法人・個人を問わず労働保険の加入が義務付けられています。

詳細 帯広労働基準監督署
☎0155-22-8100

ふるさとの歴史を振り返ってみませんか?

足寄百年史
(上・下巻・資料編)
好評発売中

ご購入は…役場総務課総務室
広報広聴担当まで

本別から

いきいきほんべつふれあい祭り

地域でさまざまな生涯学習活動を展開している各種団体・サークルが集い、日ごろ培ってきた活動を発信します。皆さんのお越しをお待ちしています。

日時 11月20日(日) 午前9時30分-
場所 本別町体育館
内容 フリーマーケット、読み聞かせ、農産品・加工品販売、健康づくり・食生活改善コーナー、バザー(うどん・そば)など



詳細 本別町役場企画振興課企画・生涯学習担当
☎22-8121

陸別から

しばれ君・つららちゃんストラップ 好評発売中!

しばれフェスティバルのマスコット「しばれ君」と「つららちゃん」をストラップにしました。陸別の道の駅で好評発売中です。

しばれ君・つららちゃん、それぞれ480円で発売中ですが、2個1組になったストラップ(写真)は800円で販売しています。



詳細 陸別振興公社 ☎27-2012

うちの人気者

掲載を希望される方は、役場総務課総務室・広報広聴担当まで

大西 あんなちゃん 杏奈

(平成21年11月20日生まれ)
歌やダンスが大好きで、毎日お兄ちゃんとけんかしながら2人で楽しく遊んでいます。
明るく元気な優しい女の子になってね。

直樹・芳恵さんの子
(旭町4丁目)



高坂 みうちゃん 美羽

(平成21年11月25日生まれ)
ワンワンわんだーらんどやKARAが大好きで、いつも歌ったり踊ったりして遊んでいます。はしゃぎすぎてけがをしないように、元気に育ってね。

勝・真弓さんの子
(西町3丁目)



井出 あやとちゃん 瑛斗

(平成21年11月26日生まれ)
パワーショベルやダンプなど働く車が好きで見つけると嬉しそうに教えてくれます。食欲も旺盛で頼もしいです。これからも元気で優しい子に育ってね。

英徳・聖子さんの子
(南7条2丁目)

ひとのうごき

10月末の住民基本台帳

人口	7,705人 (±0)
男	3,740人 (+2)
女	3,965人 (-2)
世帯	3,603世帯 (-4)

()内は前月比

今月の表紙

10月10日に開かれた「町民マラソン大会兼町民ウォーキング」でのスナップです。
(⇒10ページ)

編集後記

☆念願の道東自動車道が10月29日に開通し、十勝と道央圏を結ぶ交通アクセスが大幅に改善されました。どんなものかと開通日当日、私も早速利用し札幌に行ってきました。
☆途中、由仁パーキングエリアで休憩していると、某新聞社に道東自動車道開通の感想などインタビューを受けました。
☆普段は広報担当として取材する側ですが、取材される側は初めてで、最後まで平凡な感想しか出ずじまい。もっと気の利いたコメントをすればよかったと後悔しました。
☆妻には「あんなコメントじゃ、絶対載らないね」と言われる始末。次回までには、もっと腕を上げたいと思います。

広報あしよろ11月号 No.703

発行：足寄町
編集：総務課総務室 ☎25-2141 内線334
〒089-3797 北海道足寄郡足寄町北1条4丁目48番地1
<http://www.town.ashoro.hokkaido.jp>